

白浜町 議会だより

No.57

令和2年(2020)8月

発行 白浜町議会

編集 議会広報特別委員会



ねがいごと、叶うといいな (白浜幼稚園 七夕まつり)

CONTENTS

■ 令和2年第2回定例会、第2回臨時会	P. 2～4
■ 新型コロナウイルス感染症に関する町議会の動き	P. 5
■ 一般質問	P. 6～11
■ 政務活動費の収支状況報告	P. 12
■ 町議会・町議会議長の主な動き	P. 13
■ 次回日程等	背表紙

▷▷ 令和2年第2回定例会 (6月9日～6月24日)

第1日

6月9日【開会、町長挨拶、提案理由の説明、議案審議】

- ・会期の決定
- ・議案の提案理由説明（報告5件、条例改正5件、補正予算関係7件、物品購入契約2件、その他の議案2件）
- ・議案審議（条例改正2件）

第2・3日

6月18日【一般質問】

- ・松田議員、丸本議員、水上議員、小森議員

6月19日【一般質問】

- ・廣畑議員、長野議員

《P6～P11に内容記載》

第4・5日

6月23日【提案理由の説明、議案審議】

- ・追加議案の提案理由説明（物品購入契約1件、補正予算関係1件）
- ・議案審議（報告4件、議案7件、補正予算関係7件）

6月24日【議案審議、閉会】

- ・追加議案の提案理由説明（人事案件2件）
- ・議案審議（報告1件、議案3件、補正予算関係1件）
- ・委員会発議案件1件 ・議員定数等検討特別委員会の設置

口 条例改正

○白浜町手数料徴収条例の一部を改正する条例について

個人番号を通知する通知カードの新規発行及び記載事項変更の手続き等が廃止されたことに伴い、再交付に係る関係規定を改正

○白浜町国民健康保険条例及び白浜町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について

国民健康保険及び後期高齢者医療において、新型コロナウイルス感染症に感染するなどした被用者に傷病手当金を支給するため、関係規定を改正

○白浜町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた納税義務者に対する国民健康保険税の減額又は、免除の特例に係る規定を追加

○白浜町介護保険条例の一部を改正する条例について

新型コロナウイルス感染症の

影響を受けた第1号被保険者に対する介護保険料の減額又は免除の特例に係る規定を追加

○白浜町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準に、認可基準として定められている連携施設の要件について、調整等により卒園後も引き続き教育・保育の提供を受けることができる場合には、卒園後の受入先確保のための連携施設の確保を不要とするため改正



口補正予算

○令和2年度白浜町一般会計補

正予算(第3号)

・既定予算への補正額

3億1千590万円

・補正後の歳入歳出予算総額

152億800万円

主な補正内容は次のとおり

★Ⅱ新型コロナウイルス対策

【議会費】

★町議会委員会等行政調査旅費

減額 ▲264万円

【総務費】

・コミュニティ助成事業

250万円

★微酸性電解水生成装置購入事業

125万円

・戸籍システム改修事業

729万円

・住基システム改修事業

253万円

【民生費】

・電話交換機システム更新事業

440万円

・駐輪場フェンス設置事業

150万円

★保育園備品等整備事業

850万円

★保育園給食費無償化事業

641万円

【衛生費】

・斎場予約システム整備事業

590万円

・源泉施設維持管理事業

550万円

【農林水産業費】

・ウエルカムフラワー推進事業

100万円

・小規模土地改良事業

327万円

・保呂防火道測量事業

250万円

・林道将軍川線法面補修事業

268万円

・水産資源流通促進事業

450万円

・湯崎海岸越波対策事業

400万円

・瀬戸漁港機能保全事業

217万円

【観光費】

・歓迎等看板設置事業

267万円

・久木地区観光振興トイレ整備事業

120万円

・瀬戸地区観光振興トイレ整備事業

210万円

【土木費】

・平間第1団地外壁改修事業

3千万円

【消防費】

・消防団車両更新事業

3千300万円

【教育費】

★児童・生徒用パソコン整備事業

9千610万円

★幼稚園備品等整備事業

100万円

★幼稚園給食費無償化事業

104万円

★学童保育所備品等整備事業

450万円

★小・中学校給食費無償化事業

4千396万円

○令和2年度白浜町一般会計補

正予算(第4号)

・既定予算への補正額

1億2千610万円

・補正後の歳入歳出予算総額

153億3千410万円

主な補正内容は次のとおり

★Ⅱ新型コロナウイルス対策

【観光費】

★商品券配布事業補助金

1億1千40万円

★海水浴場監視委託料

468万円

○令和2年度白浜町国民健康保険

事業特別会計補正予算(第1号)

・既定予算への補正額

100万円

・補正後の歳入歳出予算総額

29億1千300万円

○令和2年度白浜町後期高齢者

医療特別会計補正予算(第1号)

・既定予算への補正額

36万5千円

・補正後の歳入歳出予算総額

6億4千736万5千円

○令和2年度白浜町介護保険特

別会計補正予算(第1号)

・既定予算への補正額

▲700万2千円

・補正後の歳入歳出予算総額

31億5千199万8千円

○令和2年度白浜町簡易水道事

業特別会計補正予算(第2号)

・既定予算への補正額

1千150万円

・補正後の歳入歳出予算総額

1億630万円

○令和2年度白浜町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)

・既定予算への補正額

180万円

・補正後の歳入歳出予算総額

1千250万円

○令和2年度白浜町下水道事業特別会計補正予算(第1号)

・既定予算への補正額

897万8千円

・補正後の歳入歳出予算総額

6億8千497万8千円

□財産の処分について

【処分財産】

白浜町1434番地の2

白浜医療・保健・福祉総合センター 1階部分

【契約の相手】

白浜町1447番地

公益財団法人白浜医療福祉財団

理事長 井濶 誠

【価格】

1千54万9千円



□物品購入契約

○塵芥車更新事業

【品名・数量】

塵芥車 1台

【契約金額】

638万5千500円

【契約の相手】

田辺市東山二丁目31番15号

和歌山三菱ふそう自動車販売(株)

取締役社長 鈴木 恭一

○消防ポンプ自動車更新事業

(すさみ消防署)

【品名・数量】

消防ポンプ自動車 1台

【契約金額】

4千834万5千円

【契約の相手】

上富田町朝来1407番地の4

和歌山日野自動車(株)田辺支店

支店長 田中 勝則

○吸引車更新事業

【品名・数量】

吸引車 1台

【契約金額】

1千325万5千円

【契約の相手】

大阪府八尾市神武町2番68号

(株)モリタエコノス関西支店

支店長 植村 則雄

□白浜町教育委員会委員の任命

次の方の任命を同意した。

・藤敷 庸一(白浜) (敬称略)

□富田共有財産組合委員会委員の選任について

次の方の任命を同意した。

・瀬見 幸男(富田) (敬称略)

□議員定数等検討特別委員会の設置

6月24日、議員定数や政務活動費、議会活性化等に関する事項を付議事件とする特別委員会を設置し、閉会中に継続審査することとした。

【委員長】 楠本 隆典

【副委員長】 小森 一典

【委員】 議長を除く全議員

令和2年第2回臨時会

令和2年第2回臨時会は、5月12日招集、1日間の会期で開催した。新型コロナウイルス感染症対策に関し、早急に対応が必要な議案3件及び条例改正2件について、審議を行い、すべて全会一致で承認、可決した。

□補正予算

○令和2年度白浜町一般会計補正予算(第2号)

・既定予算への補正額

22億3千280万円

・補正後の歳入歳出予算総額

148億9千210万円

主な補正内容は次のとおり

★Ⅱ新型コロナウイルス対策

【総務費】

★特別定額給付金事業

21億4千750万円

【民生費】

★子育て世帯臨時特別給付金事業

2千430万円

【観光費】

★中小企業信用保証料補助金

3千100万円

新型コロナウイルス感染症に関する町議会の動き

感染拡大の防止、安定した議会運営のために

新型コロナウイルス感染症対応申し合わせ

4月28日、新型コロナウイルス感染症について、緊急事態宣言や、それに伴う休業要請など、国、県の感染防止策を踏まえ、町議会としても、さらなる対策を講じる必要があると考え、感染防止策を徹底することや、当面の間、視察や研修を控えることなど、感染拡大の防止と議会の安定的な運営に努めています。また、本会議においては、マスクの着用、当局の提案説明や一般質問時間など安全面に配慮し、スムーズな議事運営を心掛けています。



町民の声に耳を傾け、速やかな対応を

新型コロナウイルス感染症対策について申し入れ

5月12日、町当局に対し、新型コロナウイルス感染症対策について申し入れを行いました。申し入れ事項については、住民の不安を解消するための「相談窓口の設置」や「積極的な情報提供」など、行政の体制づくりをはじめ、「医療・福祉、経済・産業、教育」など、総合的に重要な4項目にまとめました。また、状況に応じた柔軟な対応が適宜求められるため、町と議会の連携強化についても事項の一つとしました。



議会と町が一丸となり英知を絞る

新型コロナウイルス感染症対策会議

町と連携し、情報共有を図るための組織づくりのため、議会災害時対応マニュアル等に基づき、議会運営委員会委員で構成する「新型コロナウイルス感染症対策会議」を設置しました。町と連携し、迅速な議会対応ができるよう適宜会議を開いています。また、必要に応じて全員協議会や議員懇談会を開催し、議員全員の意見を集約しながら、議会としての危機管理体制の強化、当局に対しての提言を行っています。第1回目を5月21日、第2回目を6月2日に開いています。

委員会視察費を町民支援策へ

令和2年度議会費の減額について申し入れ

5月27日、町当局に対し、令和2年度議会費の減額について申し入れを行いました。新型コロナウイルス感染症については収束が見通せず、引き続き他府県への移動自粛等が求められている（5月27日時点）ことから、令和2年度の委員会行政視察（視察研修）を中止することとし、その財源を活用し、町民への支援策に充てるよう申し入れを行いました。



令和2年第2回定例会一般質問（登壇順）



まつだ たけはる
松田 剛治 議員
(分割)

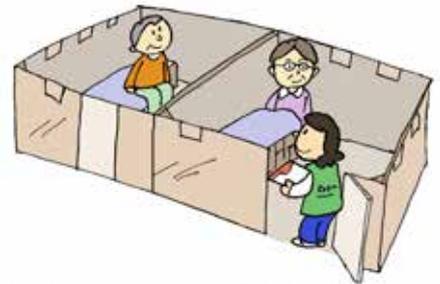
- ・コロナ禍を踏まえた防災・減災対策について
- ・コロナ禍を踏まえた福祉事業所の支援について
- ・アフターコロナの取り組みについて
- ・子育て支援について

問 避難所の開設について、新型コロナウイルスを想定した対応訓練の実施、過密状態を防ぐ分離避難所の体制構築について伺う。

答 避難所開設訓練・研修については、通常の避難所開設に伴う受付業務以外に健康状態の確認や新たに調達する備品の使用要領の研修が必要と認識している。隔離スペースの確保が可能な施設として、町内4カ所を指定している。

問 避難者の基本的な感染対策及び発症した場合の対応について伺う。

答 避難所に避難される際の携行品やソーシャルディスタンスの確保、咳エチケット等については、6月広報誌と町ホームページで広報している。避難所における発症は、消防本部と連携し対応する。



(新型コロナウイルス感染症を想定し、グループ間を間仕切りした避難所)

問 感染防止に資する衛生物質の備蓄や、避難所で活用できる段ボールベッドやパーテーション購入に係る予算づくりについて、考えを伺う。

答 感染症予防に資する除菌・衛生物資や資材備蓄の調達等、地方創生臨時交付金制度の補助対象となる物品と予算を考慮しながら前向きに検討していきたい。

問 社会福祉施設などが新型コロナウイルスでの集団感染に至った場合における町の支援について伺う。

答 国から示されている対応方法に基づき、保健所や医療機関等とも連携しながら、施設に対し必要な支援措置を講じることになる。

問 町としてアフターコロナにおける回復のシナリオをどの様に構想されているのか、井澗町長の意気込みも含め伺う。

答 世界に誇れる観光リゾート白浜オンリーワンのテーマのもと、MICEやスポーツ合宿の誘致等をはじめ、さらなる観光意欲の向上を図る観光振興の取り組みや、地域経済の活性化を

図る取り組みを、関係機関、団体と進めていく。

問 宮城県栗原市など、子育て世帯のニーズに応えることができるツールとして、電子母子手帳などの機能を有する子育てアプリサービスを活用している自治体があるが、当町においても導入する考えはあるか。

答 当町の人口規模的に情報提供の手段としてアプリを導入しないと対応できないという状況ではないので、今後の課題とさせていただきます。



(宮城県栗原市で活用されている、子育てアプリ「スマイル栗なび」)



まるもと やすたか
丸本 安高 議員
(一問一答)

・ 税の滞納と差押え

問 税の滞納と差押えにつ

いては、今回で5度目の質問になる。これまでの答弁では、滞納により、年金や給料が振り込まれた預金口座を差押える場合には、預金債権であるため、差押禁止額である10万円を控除せず、滞納額に満ちるまでの金額を差押え、取立てをしているとのこと。

令和元年9月、大阪高裁において、10万円の控除をせず差押えをした行政側が敗訴している。この判決を受け、令和2年1月31日、国税庁徴収部長は各国税局徴収部長、また、沖縄国税事務所次長あてに「差押禁止債権が振り込まれた預貯金口座に係る預貯金債権の差押えについて」の指示内容を記した通達を發出している。指示内容には、実質的に給与や年金を差押えたと同視され得る場合には、差押可能部分以外については差押えを行わないとあ

--- 関係法令抜粋 ---

【国税徴収法第76条】

給料、賃金、俸給、歳費、退職年金及びこれらの性質を有する給与に係る債権については、次に掲げる金額の合計額に達するまでの部分の金額は、差し押えることができない。この場合において、滞納者が同一の期間につき2以上の給料等の支払を受けるときは、その合計額につき、第4号又は第5号に掲げる金額に係る限度を計算するものとする。

【国税徴収法施行令第34条】

法76条第1項第4号に規定する政令で定める金額は、滞納者の給料、賃金、俸給、歳費、退職年金及びこれらの性質を有する給与に係る債権の支給の基礎となった期間1月ごとに10万円（滞納者と生計を一にする配偶者、その他の親族があるときは、これらの者一人につき4万5千円を加算した金額）とする。

る。今後、当町も国税同様、差押えについて10万円を控除すべきでは。

答 預貯金債権に係る差押えを執行する際には、給与等の差押えをする場合のよ

うな差押禁止額を差し引いて執行していないが、差押えを執行するかどうかの判断を行う際には、滞納されている方の預貯金はもろ

らゆる財産調査も入念に実

施し、個別の事情、生活状況を総合的に判断して慎重に行い、滞納されている方の生活が直ちに窮迫しないように執行している。国税庁が各国税局あてにこの指示文書を出される以前から、当然にその内容も含めて判断しているところであり、調査を進める中で、実際に生活が困窮していると認められるような場合には、滞納処分執行停止の判断をし、滞納されている方の生活状況の改善に向けて福祉部局との連携をしている。

引き続き、差押え等の滞納整理については、徴税職員が租税法主義のもと、地方税法、国税徴収法の遵守を徹底し適切に努め、徴税職員が一丸となって使命感をもち、行政運営の根幹となる徴税行政の推進に努める。

・町の諸課題について ・教育と子育て支援について



みずかみ くみこ 議員
水上 久美子 議員
(一問一答)

問 町のコロナ対策等、ホームページの情報が遅くりアルタイムな周知徹底と町の対応や考え方も提示すべきと町民から指摘された。また、第2波対策はどうか。

答 ホームページを活用した情報提供については、できる限りリアルタイムの情報提供を心がけており、引き続き内容等も含め早い対応に努める。第2波の対策については、町民の皆様への情報提供や必要な物資の備蓄に努める。

問 救急搬送など救急隊員のコロナ感染予防体制はどうか。周辺消防署との連携や協議はできているのか。

答 予防体制は、通常より感染防止できるものに変更する。また、連携や協議については、応援協定等を締結している。



(6月1日から学校が再開されている)

問 学校の長い休業、分散登校やマスクの着用等、児童生徒の様子はどうか。ストレスや学習不安に、児童生徒と向き合って対応できているか。

答 学級の担任や養護教諭等を中心に、児童生徒一人ひとりの様子を細やかに観察し、職員で情報を共有して、素早く対応できるようにしている。

問 学校休業中に、ボランティアで子どもごはんプロジェクトを実施された有志

団体がある。民間活動支援を数年前に提言したが、再度提言する。活用しやすい仕組みや支援は可能か。

答 地域の皆様の自発的な取り組みに感謝している。和歌山県NPOサポートセンター等と連携しながら、支援メニューなどの情報提供についてお手伝いさせていただきます。

問 国のICT教育GIGAスクール構想、教員の加配やICT教育アドバイザーの活用を求めているか。導入に民間企業等の支援で校内無線LANなど通信環境の無償提供やICT支援員として協力を得られないか、早い段階から調査し公募してはどうか。

答 GIGAスクール構想における、学校でのICT化に伴う教職員の加配はないと考えおり、教育アドバイザーの活用についても、

イザールの活用についても、現在のところ予定していない。まずは、現状の教職員で研修を深め、スキルアップを図っていく。

問 赤ちゃんを感染症から守るために、緊急事態宣言の渦中に予防接種を受けられなかった場合でも、公費接種ができないか。

答 新型コロナウイルス感染症による影響で、定期予防接種ができない場合には、公費助成により接種できるように対応していきたい。



(定期的予防接種は感染症の発生やまん延を防ぐ観点から重要である)



こもり かずのり
小森 一典 議員
(一問一答)

・就職氷河期世代の職員採用について ・保育士修学資金貸付事業等について

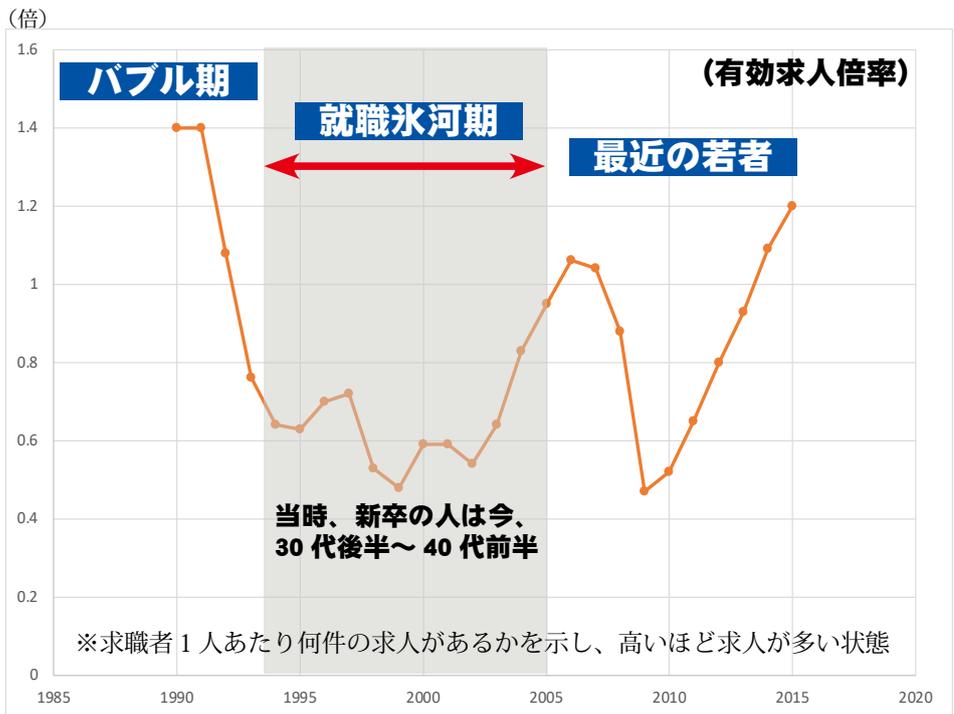
問 国は昨年、「就職氷河期世代を対象とした（34歳〜49歳）活躍支援プラン」を打ち出し、既に、和歌山県や新宮市では、就職氷河期世代を対象とした一般行政職員の採用試験を実施している。当町職員採用試験においても枠を設けることで、この世代に対する支援策、対応策に繋がると考えるがいかがか。

答 就職氷河期世代の対象となる方の中には、働く意欲はあるが、働く場がなく、チャンスがあれば活躍できる能力を有した方も数多くおられると思われるので、こういった方々を支援していくべきで、今後、検討をしていきたい。

問 県では、職務経験者を対象としたUターン型の採用試験も同時に実施している。当町においても、過疎化対策や幅広い人材確保

の観点から、必要な施策ではないかと考えるがいかがか。

答 今後の町づくりにおいて、町の発展のために貢献していただける方を登用し



(1993年～2005年頃は厳しい雇用環境が続いた)
出典「一般職業紹介状況(職業安定業務統計)」(厚生労働省)

士修学資金貸付事業を実施しており、この学生が県内の幼保施設に就職した場合、奨学金の返済が免除となる。この条件から、町内出身の学生が地元で就職しない場合も想定されるため、当町でも同様の奨学金を設け、町内施設に勤務して頂くことで、将来の子育て環境の充実と若年層の定住化、保育士確保の一助になると考えるがいかがか。

答 当町では、過去5年にわたり、待機児童は0人となっており、保育士を確保することを目指した養成学校などへ進学した学生への町独自の支援などは、今のところ実施していない。当町における保育士の採用状況は都市部などと比較すると非常に少なく、県が実施しているような貸付事業制度が適しているのか、検証していきたい。

問 県は、保育士養成校へ進学した学生に対し、保育

・コロナ危機のもとでの 町民生活について



ひろはた としお 議員
(一問一答)



(避難所指定されている百々千園の地域交流ホール)

問 災害避難所において、三密回避のための間仕切り等の確保、避難場所の更なる確保が必要と考えるが、どのような方向性で感染防止に取り組むのか伺う。

答 避難所備品の調達については、仕切り資材等の購入を補正予算に計上している。避難所増加対策については、現状、町有施設等に対応していきたい。地方創生臨時交付金制度の補助対象となる物品と予算を考慮し前向きに検討したい。

問 特別定額給付金の基準日以降に生まれた乳児や、これから誕生する未来の町民に対しても給付金を支給する考えはないか。

答 全町民へ配布する商品券配布事業により、少しでも町民の皆様への支援となるよう取り組みたい。

問 大学や専門学校に通う学生についても支援が必要と考えるがいかがか。

答 日本学生支援機構や各大学等独自の様々な支援策が現在行われており、国等の制度を活用されたい。

問 緊急経済対策として、半年間水道料金の軽減が行われているが、更に半年間延長できないか。

答 感染症の影響で、水道料金収入が減収となっており、経営状況を考えると厳

しいところであるが、今後地域経済の状況を見極めながら判断したい。

問 待ち焦がれた学校の再開。日本小児科学会は、休校による新型コロナウイルスの流行阻止効果は少ないとするまとめを発表している。今後は、専門家などの知見のもとに児童生徒が登校し、教育を受けられるようにと考えるがいかがか。

答 臨時休業については、国県の基準に基づいて対応していくが、感染者の発生状況等により対応が異なると考えられる。保健所等と連携を図りながら、児童生徒の学習の機会が確保できるように、適切に対応する。

問 医師の判断ですぐに検査が行えるように、紀南地方にPCR検査センターを設置するよう、働きかけできないか。

答 和歌山県や保健所など関係機関の連携や、周辺市町との広域圏の取り組みが必要であり、提言をしていきたい。

問 感染者に対しての誹謗中傷に対する町長の考え、認識はどうか。

答 感染者、濃厚接触者、医療従事者等に対する誤解や偏見は、ゆるされることではないと考える。町民の皆様には正確な情報の入手と冷静な行動をとっていただきたい。





ながの 長野 議員
そういち 荘一
(一問一答)

- ・ 安居暗渠について
- ・ 白浜町の球場の維持管理について
- ・ 高齢者に優しいまちづくりの支援について
- ・ 新型コロナ対策に伴う避難所の運営と感染症対策の家庭ゴミの出し方について



(白浜球場のバックネット)

問 安居暗渠について、県指定文化財の指定に向けた取り組みと、これまでどのような協議をされたのか伺う。また、暗渠碑から暗渠までの看板の設置及び、通路の整備の考えは。

答 県の担当者と現地確認を行い、指定の範囲の確定等を含めた実務作業を進めており、地元区、団体等と協議を行って行く。

設置されている看板は早急に補修し、通路の整備は、和歌山県指定文化財に指定

されれば、教育委員会と連携し、整備に取り組む。

問 白浜球場のバックネットの柱部分が腐食し、また、ネットが破れており、修繕する考えはないか。また、白浜球場、富田若者広場のダッグアウトの耐震診断はしなくても良いのか伺う。

答 白浜球場については、バックネット、ダッグアウトを安全性の問題から、改修の重点事項と位置付けて取り組む。

若者広場のダッグアウトについては、ブロック塀相当との見解であり、調査の結果、補強が必要なため、早急に対応する。

問 買い物や病院に行きたいが、交通が不便であり、思うように移動ができない人達の声が多くある。そういった声に応えるため、生活支援体制整備事業が生ま



(買い物や通院に支援が求められている)

れたが、これまでどのような検討をされたのか、また、今後の支援策について、どのような考えか伺う。

答 高齢者の生活支援ニーズについては、どのようなサービスが必要と考えられるのか検討を行ってきた。買い物支援については先進地視察や地域の協力を得られればモデル事業としての実施なども検討したい。

問 民間施設を使用した避難所の増加対策について、ホテル業者等の協力はなぜ得られないのか伺う。

答 民間業者の協力にあたり、無償協力は困難と考える。補助制度も視野に入れて検討したい。

問 避難所に派遣する職員への受け入れ要領や調達する備品の訓練や研修が必要ではないか。

答 健康状態の確認や新たに調達する備品の使用法も含め研修が必要である。今後、研修を計画する予定である。

問 感染症を防ぐため、家庭ごみの出し方、注意点を再度広報等で周知徹底を図ってはどうか。

答 町民の皆さまのごみ出しルールへのご理解ご協力が必要であるため、ごみの出し方について、改めて、町広報等で、周知徹底を図っていききたい。

▷▷ 政務活動費の収支状況報告 (令和元年度分)

政務活動費とは、「白浜町議会政務活動費の交付に関する条例」によって、議員の調査研究等の活動に必要な経費の一部として交付されるものです。年度当初に議員ひとりにつき、年額18万円を一括交付しています。なお、残余金が生じた場合、返還しなければなりません。

(単位：円)

項目	議員名 堀 匠	楠本 隆典	廣畑 敏雄	西尾 智朗	正木 秀男	南 勝弥	小森 一典
調査研究費				144,640	36,930	68,300	48,500
研修費	69,800	6,000	74,120				101,872
広報・広聴費		40,390	98,806				
要請陳情等 活動費	61,200				8,520	34,680	
会議費							
資料作成費							
資料購入費	48,000	81,095	37,116	37,116	21,600	50,474	43,824
事務所費							
事務費		53,969	3,330		52,937	18,762	
人件費							
その他					20,905	15,199	
合計	179,000	181,454	213,372	181,756	140,892	187,415	194,196
返還額	1,000	0	0	0	39,108	0	0

項目	議員名 丸本 安高	辻 成紀	松田 剛治	溝口耕太郎	長野 莊一	堅田 府利	水上久美子
調査研究費			48,500	58,300			66,240
研修費		82,600	115,080		82,600	157,600	64,860
広報・広聴費				78,406			
要請陳情等 活動費							
会議費							
資料作成費							
資料購入費	88,908	21,600	3,024	40,800	49,010	36,408	56,916
事務所費							
事務費		33,640		6,362			
人件費							
その他							
合計	88,908	137,840	166,604	183,868	131,610	194,008	188,016
返還額	91,092	42,160	13,396	0	48,390	0	0

▷▷ 町議会・町議会議長の主な動き（4月～6月）

4月1日	正副議長 議会運営等協議	21日	議会運営委員会 白浜町議会新型コロナウイルス 感染症対策会議
2日	正副議長・議会運営委員長 議会運営等協議	27日	全員協議会 議員懇談会
6日	保育園・幼稚園入園式	6月1日	献湯祭・温泉神社式典
7日	第1回臨時会 議会運営委員会 総務文教厚生常任委員会 観光建設農林常任委員会 議会広報特別委員会 全員協議会 議員懇談会	2日	議会運営委員会 白浜町議会新型コロナウイルス 感染症対策会議
9日	議会広報特別委員会	9日	第2回定例会第1日 全員協議会 議員懇談会
10日	正副議長就任挨拶まわり (田辺市ほか)	18日	第2回定例会第2日 議会運営委員会
13日	和歌山県町村議会議長会 会計監査(和歌山市) 小中学校入学式	19日	第2回定例会第3日 議会運営委員会 全員協議会 議員懇談会
28日	正副議長・議会運営委員長 議会運営等協議	23日	第2回定例会第4日 議会運営委員会
5月7日	議会運営委員会	24日	第2回定例会第5日 議会運営委員会 全員協議会 議員懇談会
12日	第2回臨時会 全員協議会 議員懇談会		
18日	西牟婁郡町村議会議長会総会 (田辺市)		



次回日程

次回定例会（9月）の会期は、9月1日（火）から16日（水）までの予定です。

日	月	火	水	木	金	土
	8/24	8/25 議会運営 委員会 10:00~	8/26	8/27	8/28 	8/29
8/30	8/31	1 開会日 第1日 提案説明等 10:00~	2 (休会) ※委員会開催や 議案調査のため	3	4	5
6	7	8	9	10 第2日 一般質問 10:00~	11 第3日 一般質問 10:00~	12
13	14 (休会)	15 第4日 議案審議 10:00~	16 閉会日 第5日 議案審議 10:00~	17	18	19

9月議会の日程は、8月25日（火）開催予定の議会運営委員会で決定します。
詳細は、議会事務局（43-6591）までお問い合わせください。

編集後記

ことしに入り、新型コロナウイルス感染症が世界に拡大し、緊急事態宣言が発出され、県をまたいでの移動制限、外出自粛の要請などから、観光が基幹産業である白浜町では、経済的に大きな損失が出ることとなりました。現在は制限が解除され、6月議会では、白浜町営海水浴場の開設にあたり、白浜町と関係経済団体が協議のうえ作成した、海水浴場に関するガイドラインについて意見交換をしました。

今後、第2波をいかに防ぎ、疲弊した経済を復活させるかは、国が指示する「新しい生活様式」を守り、また、白浜町のガイドラインを守ることが不可欠です。議会としても感染者を出さないよう努め、観光客のみならず白浜町民が安心して過ごせる町となるよう取り組んでまいります。（堅田）

議会用語

専決処分という言葉を目にしたことがあると思います。専決処分とは、議会が議決又は決定をしなければならない事項を、法律に定められた事由に該当する場合又は議会が議決により首長に委任した場合に、首長が議会に代わってこれを処分することをいいます。

例えば、一定の金額以下の自動車事故について、その損害賠償額の決定をするなどの簡易な事項で、首長に委任した場合などが考えられます。

議会広報特別委員会

委員長 長野 莊一
副委員長 堅田 府利
委員 廣畑 敏雄
小森 一典
丸本 安高
溝口 耕太郎

町議会に関する情報は「議会ホームページ」へ

